

FlexibleEntry® リリースノート

心をつなぎ、社会をつなぎ



FlexibleEntry Ver6.0の変更点は次の通りです

1. 追加機能および改善点

- ①利用ミドルウェアのバージョンアップや対応ブラウザの変更
- ②申込情報登録画面や検索画面のUI改善
- ③認証機能のOauth2.0対応
- ④その他機能追加・改善

2. 不具合の改修

3. 注意事項

- ①クライアントPC・タブレットの推奨環境
- ②様式作成における注意事項

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



1. 追加機能および改善点

① 利用ミドルウェアのバージョンアップや対応ブラウザの変更

利用するミドルウェアについて、以下の通りバージョンアップを実施しました。

- OS : RHEL7.9(64bit)
- Tomcat : 9.0.X
- PostgreSQL : 13.4
- Pgroonga : 2.3.1
- Node.js : 14.17.x

利用ブラウザについて、IE11をサポート対象外とし、FireFox、Google Chrome、Microsoft Edgeとします。Ver6.0開発時点の動作確認済のブラウザのバージョンは以下の通りです。

- FireFox : 91.4
- Google Chrome : 96.0
- Microsoft Edge : 97.0

② 申込情報登録画面や検索画面のUI改善

申込情報登録画面および検索画面において、新たなデザインを導入した改善を行いました。

詳細は次の通りです。

- 申込情報登録画面と検索画面のUI刷新
- 申込情報登録画面、検索画面、タスク管理画面間の画面遷移のシンプル化
- 申込情報登録画面の操作機能のメニュー化やタブのメニュー化による操作改善
- 検索画面における検索条件の全表示/閉じる機能の追加

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



③認証機能のOauth2.0対応

認証機能におけるKeyCloak認証サーバを導入することにより、ログインや公開APIのOauth2.0認証対応を実施しました。

詳細は次の通りです。

- ・ログイン時の認証処理をKeycloak側で実施することにより、SSO、多要素認証（OTP）、パスワードポリシー設定、セキュリティ防御設定等を実現
- ・アカウント登録や削除におけるKeycloak認証サーバとの自動連携を実現
- ・公開API利用時、Oauth2.0認証を標準利用することによりセキュリティ向上を実現

④その他機能追加・改善

◆マスタメンテ機能の改善

- ・UI改善に伴い、申込情報登録画面や検索画面の表示項目制御を権限マスタに集約し、マスタメンテにおける設定内容のシンプル化を実現

◆公開APIにおけるアカウント情報や組織情報の改善

- ・FlexibleEntryのデフォルト様式であるアカウント情報や組織情報の更新や変更の公開APIにおいて、専用APIに限定することにより、誤ったAPI利用を防ぐことを実現

◆記載変更機能の廃止

- ・既存機能の記載変更機能において、ワークフロー再実施機能や変更履歴管理機能で代替可能であり、複雑で利用実績が少ないため、記載変更機能を廃止

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



◆申込情報登録画面項目段組み表示機能の廃止

- ・申込情報登録画面のUI改善に伴い、レイアウトがシンプルになり、段組み表示が必要ないと判断し、様式登録機能の段組みレイアウト設定や申込情報登録画面の段組み表示機能を廃止

◆アカウント情報登録画面の見直し

- ・KeyCloak認証サーバの導入に伴い、アカウント情報登録画面において、不要となる項目（パスワード失敗回数、ロックフラグ等）の非表示やユーザIDの小文字のみ許容等の機能見直しを実施

◆完了済タスク表示の改善

- ・タスク管理画面において、実行中タスクが0件の場合でも、完了済タスクを表示するように機能改善を実施

◆住所マスタメンテ機能の改善

- ・日本郵政が提供した郵便番号マスタデータによるFlexibleEntryの住所マスタの更新ツールによるSaaS運用時のメンテナンス効率化向上を実現

2. 不具合の改修

- FE6.0_0001 : FireFoxのブラウザバージョンアップによりワークフロー選択時、「権限無し」エラーが発生する不具合事象の改修
- FE6.0_0002 : 公開APIによる参照リスト入力タイプの登録や更新が実施不可となる不具合事象の改修
- FE6.0_0003 : 親情報がBASE以外有の申込登録情報の場合、情報ツリーから子情報の新規作成できない不具合事象の改修
- FE6.0_0004 : 様式登録時、数値の上下限にマイナスまたは小数点を入力した際に保存時エラーとなる不具合事象の改修
- FE6.0_0005 : 数値タイプでカンマが付く4桁以上の項目において、修正履歴登録時にエラー発生する不具合事象の改修

3. 注意事項

①クライアントPC・タブレットの推奨環境

【PC】

- ・OS: Windows7以降
- ・ブラウザ: FireFox(91.4以降)、Google Chrome(96.0以降)、Microsoft Edge(97.0以降)
- ・解像度: 1920x1080以上

【タブレット】

- ・実証済み端末: iOS系 Apple iPad 32GB
- ・ブラウザ: FireFox(91.4以降)

※シンクライアント環境で利用する場合、十分なCPUリソースが確保されていないと、レスポンス低下を招く可能性があります。

※一部機能がタブレット端末ではご利用いただけません。

②様式作成における注意事項

クライアント側の画面描画性能を保つため、以下の標準範囲内での登録情報やView情報の様式作成を推奨します。下記の標準範囲を超えて業務を行う場合は、別途、性能のチューニングが必要となります。

②-1 様式作成の標準範囲

- ・タブ数は10個以内、様式全体の項目数は500個以内(セレクト項目は50以内)
- ・表形式(参照リスト含む)は10個以内(カラム数は合計で100以内)、
表の行数の平均は50以内、最大は200行まで
- ・項目間制御(セレクト、固定値、非活性、条件付必須)は50個以内(表内、表外含む)

②-2 登録情報とViewの検索画面の標準範囲

- ・検索キーは10個以内(参照項目は5個以内)
- ・部分一致の検索キーは3個以内
- ・検索結果一覧の表示カラムは30個以内

②-3 様式階層の標準範囲

- ・様式階層は5階層以内(ツリー表示のオーダ数は100以内)

②-4 ワークフローの標準範囲

- ・メインステータスは10個以内
- ・タスクの総数は200個以内
- ・アラームの条件数は10個以内

②-5 View様式の標準範囲

- ・Viewを構成する情報は5個以内
- ・Viewの表示項目は100項目以内

②-6 権限ロールの標準範囲

- ・ロール数は10個以内

②-7 公開APIの同時実施数

- ・同時実施数は100回以内